

## 政策企画部

# 令和6年度当初予算のポイント・主要事業

### 1 予算調製にあたっての基本的な考え方

令和6年度は、「強じんな美し国ビジョンみえ」及び「みえ元気プラン」がスタートして3年目となります。地域の特性を生かした「強じんで多様な魅力あふれる『美し国』」の実現に向け、県民に成果が届いているかを意識しながら、「みえ元気プラン」の各施策に基づく取組を着実に進める必要があります。

政策企画部では、「みえ元気プラン」の取組が着実に進み、成果を県民に届けられるよう、みえ県民1万人アンケートの実施やP D C Aサイクルの的確な運用により、その実効性を高めていきます。

また、庁内の総合調整を行いながら、「三重県人口減少対策方針」に掲げる取組、「選ばれる三重」の実現に向けたプロモーションの展開、人材確保に向けた取組や「『ゼロエミッションみえ』プロジェクト推進方針」に基づく取組等を、効果的に促進していきます。

### 2 主な重点項目

#### (1) 計画進行管理事業

予算額 2,455 千円 [企画課 (224-2025)]

「強じんな美し国ビジョンみえ」の基本理念の実現に向け、施策の成果や課題に関する議論を通じてP D C Aサイクルを的確に運用し、各部局に対して必要な支援や助言等を行うことで「みえ元気プラン」の着実な推進を図ります。

#### (2) (一部新) 人口減少対策費

予算額 52,892 千円 [人口減少対策課 (224-3415)]

「三重県人口減少対策方針」に基づき、庁内の総合調整を行うとともに、市町、企業等、さまざまな主体との連携により、効果的な取組につなげます。また、人口減少対策広域コーディネーターを活用し、南部地域の課題解決に向けて取り組んでいくとともに、ジェンダーギャップの解消等に向けた調査・分析や、三重県への人口還流を促進するため学生等向け県内就職情報等の発信を行います。

#### (3) (一部新) 地域と若者の未来を拓く学生奨学金返還支援事業

予算額 65,975 千円 [政策企画総務課 (224-2009)]

若者の県内定着を図るため、募集定員の拡大など制度を充実させ、県内居住等を条件に奨学金返還額の一部(100万円を上限)を助成します。助成にあたっては、条件を満たしたうえで4年経過後に助成額の1/3を、8年経過後に助成額の2/3を交付します。

(4) (一部新) プロモーション推進事業

予算額 48,676 千円 [企画課 (224-2025) ]

三重の強みや良さを生かし「選ばれる三重」を実現していくため、「三重県」全体の認知度向上を図るとともに、熊野古道世界遺産登録 20 周年や大阪・関西万博の開催などをチャンスと捉え、全庁を挙げて首都圏等における効果的なプロモーションを展開します。

(5) (新) みえの未来を担う人材確保対策事業

予算額 10,156 千円 [企画課 (224-2025) ]

<事業実施期間：令和 6 年度～>

さまざまな分野における人材確保に向けた庁内の総合調整を効果的に行うため、必要な調査等を検討・実施します。

(6) 「ゼロエミッションみえ」プロジェクト総合推進事業

予算額 24,031 千円 [企画課 (224-2031) ]

『ゼロエミッションみえ』プロジェクト推進方針」に基づき、庁内の総合調整を行い、着実な推進を図るとともに、カーボンニュートラルに向けて、再生可能エネルギーの普及に合わせた地産地消型エネルギーシステム導入の事業化にかかる可能性調査や J-クレジットの効果的な活用拡大のための実証事業を行います。

(7) (一部新) 未来につなぐ平和発信事業

予算額 6,294 千円 [政策企画総務課 (224-2009) ]

令和 7 年度に戦後 80 年を迎えるにあたり、語り部による証言動画の作成や平和啓発に関する県ホームページの改修等を行います。また、引き続き被爆地広島との交流や被爆・戦争関連資料の展示などを通じて、若い世代をはじめとする多くの県民の皆さんに、市町と連携して戦争の悲惨さと平和の尊さを伝えていく機会を設けます。

## (重点・一部新) 人口減少対策費

令和6年度予算額 52,892千円  
人口減少対策課 059-224-3415

### 1 さまざまな主体と連携した対策の推進 (一部新) 14,020千円

#### ① 企業との連携

- 「若者の県内定着・人口還流に向けた産学官連携懇話会」において産学官の関係者で意見交換を行い、課題解決に向け連携して対策を検討、実施



R5.12.14 第1回会議において  
「『美し国みえ』やさしい職場づくり  
キックオフ宣言」を採択

#### ② 市町との連携

- 課題の共有、連携した対策に向けたフォーラムを開催
- 転入転出理由に関するアンケートを実施
- 市町による人口減少を前提とした地域社会のあり方検討を支援

#### ③ 学生等向け県内就職情報発信

- 市町や県内高等学校、県内外の高等教育機関等と連携し、LINEによる就職情報やくらしの情報を県内外の大学生等に発信



LINE公式アカウントアイコン

### 2 調査・分析 (一部新) 18,954千円

- 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」をベースとした県人口の将来展望を作成
- ジェンダーギャップ解消に向け、企業の制度活用等の実態調査や、県外へ転出した女性に対する転出理由等のアンケート、ヒアリングを実施
- 県内高等教育機関学生・県出身の県外大学生に対する就職に関するアンケートを実施

### 3 人口減少対策広域コーディネーターによる地域の課題への対応 19,918千円

- 地域おこし協力隊やそのOB・OGなどが交流できる機会を創出する仕組みの構築等により広域的な連携を推進
- 地域でのヒアリング等により抽出した現場のニーズや課題をふまえた効果的な対策を推進



コーディネーターによる地域の方々の課題の聞き取り

### (一部新) 地域と若者の未来を拓く学生奨学金返還支援事業

令和6年度予算額 65,975千円  
政策企画総務課 059-224-2009

- 若者の県内定着を図るため、募集定員の拡大(40名→140名)など制度を充実させ、県内居住等を条件に奨学金返還額の一部(100万円を上限)を助成

# (重点・一部新) プロモーション推進事業

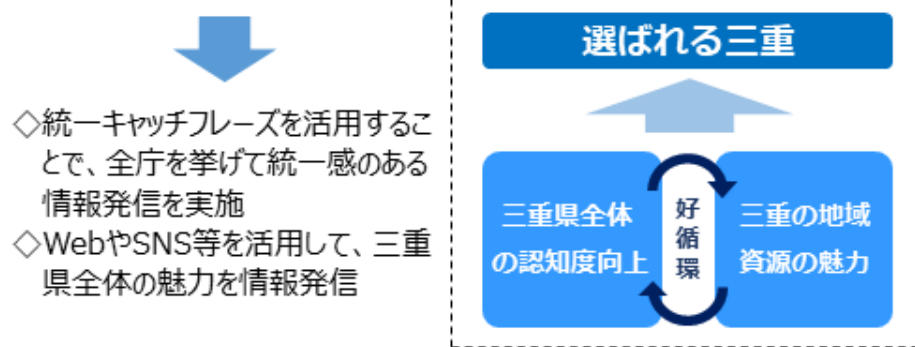
令和6年度予算額 48,676千円 (※)  
企画課 059-224-2025

本県の豊かな地域資源を活用し、三重の魅力効果を効果的に発信するため、全庁を挙げて戦略的なプロモーションに取り組みます。政策企画部として、部局間の連携をより一層促進しながら、効果的なプロモーションを展開し、三重県全体の認知度向上につなげていきます。

(※) 関西圏営業基盤構築事業 (8,806千円) は含まない

## ① 三重県全体の認知度向上 (新規) 15,748千円

- 本県には伊勢神宮や松阪牛など世界に誇れる魅力的な資源が存在する一方で、それらが三重県にあることはあまり知られていない
- 「三重県」という地域そのものの魅力と、三重の個々の地域資源が互いに高め合い、好循環を生み出していけるよう、三重県全体の認知度向上に一層焦点を当てた取組が必要



## ② 効果的なプロモーションの推進 (新規) 3,217千円

- ターゲットの明確化、効果検証などのマーケティング手法やSNSを活用し、伝えたい情報をしっかりとターゲットに届けられる効果的なプロモーションが重要

◇外部専門人材のアドバイスやノウハウを活用

## ③ 部局連携の推進 (新規) 27,305千円 (※)

- 令和6年は熊野古道の世界遺産登録20周年、令和7年は大阪・関西万博の開催など、注目を集めるイベントがあり、多くの方に三重の魅力を発信できる好機が到来
- こうした好機を逃さず、三重県の認知度向上を図るためには、各部局が効果的に連携し、相乗効果を発揮しながらプロモーションを展開することが必要
- 国内外から約2,820万人の来場者が想定される大阪・関西万博の開催に向けて、①三重県への誘客につなげるため、多くの来場者が見込まれる首都圏でのプロモーションに注力するとともに、②国内外から多くの人が集まる万博開催地 (関西圏) において、効果的な三重の魅力発信ができるよう取組を進めることが重要

三重の魅力を総合的かつ面的に発信!

### 【①首都圏】

- ◇首都圏の大規模集客施設等において、県産品の販売促進、観光誘客、移住促進等、複数部局が連携してプロモーションイベントを実施
- ◇イベントと連動して、周辺の量販店等において、県産農林水産物を中心とした「みえの食フェア」を開催



プロモーションイベントのイメージ

### 【②関西圏】 (関西圏営業基盤構築事業 8,806千円)

- ◇関西圏における情報発信等に取り組み、販路拡大や観光誘客など、分野を横断する事業を効果的に推進

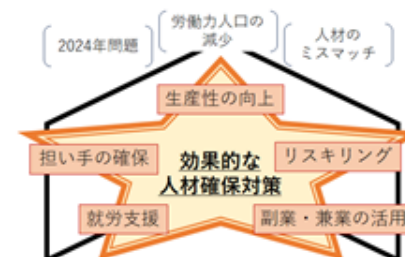


## (重点・新) みえの未来を担う人材確保対策事業

令和6年度予算額 10,156千円  
企画課 059-224-2025

✓ 県内のさまざまな産業において人手不足が顕在化・深刻化しつつある

- 全庁を挙げて効果的に対策を推進するための総合調整、わかりやすい情報発信
- より一層推進すべき人材確保対策の調査・検討（人材確保につながるリスクリングや外国人雇用の促進など）



## (重点) 「ゼロエミッションみえ」プロジェクト総合推進事業

令和6年度予算額 24,031千円  
企画課 059-224-2031

### ①地産地消型エネルギーシステム導入の事業化にかかる可能性調査 11,100千円

✓ 県内の再エネ電力の導入を拡大するとともに、再エネ電力の地産地消による地域活性化を図る仕組みの構築が必要

- 市町や企業と連携し、PPA※（電力販売契約）により県内で発電した再エネ電力を県内の需要家に供給する仕組みの構築に向けた事業化可能性調査を実施 ※PPA：Power Purchase Agreement



### ②J-クレジットの効果的な活用拡大のための実証事業 10,000千円

✓ 県内の森林由来J-クレジットの創出量増加に向けて、J-クレジットの認知度向上やJ-クレジットの円滑な流通・販売が可能な仕組みの構築が必要

- 企業・団体等を対象としたJ-クレジット制度の普及啓発
- J-クレジットを効果的に流通・販売するためのプラットフォームの構築や林業関係者と企業・団体等のマッチング等の実証事業を実施

## (重点・一部新) 未来につなぐ平和発信事業

令和6年度予算額 6,294千円  
政策企画総務課 059-224-2009

✓ 令和7年度に戦後80年を迎えるにあたり戦争の記憶の風化が懸念される中、未来を担う若い世代をはじめとする多くの県民の皆さんに、戦争の悲惨さと平和の尊さを伝える機会づくりの強化が必要

- 県内で戦争体験を次世代へ語り継ぐ活動をされている語り部による証言動画の作成
- 県ホームページの整理・改修
- 被爆地広島との交流や被爆・戦争関連資料の展示、市町と連携した平和啓発



語り部による証言

### 3 その他の主要事業

政策名、施策名及び事業の内容	担当課・ 電話番号
<p>《政策名：観光・魅力発信》</p> <p>〈施策名：（5-3）三重の魅力発信〉</p> <p>1 関西圏営業基盤構築事業 <span style="float: right;">8,806千円</span>  <span style="float: right;">【(5-3-3) 関西圏における魅力発信】</span>            (第2款 総務費 第2項 企画費 7 関西事務所諸費)            関西圏における情報発信やネットワークの充実強化に取り組み、販路拡大や観光誘客、移住促進など、分野を横断する事業を総合的に調整し、効果的に推進します。</p>	<p>政策企画総務課 (224-2009)</p>
<p>《政策名：産業振興》</p> <p>〈施策名：（7-4）国際展開の推進〉</p> <p>1 グローカル人材育成推進事業 <span style="float: right;">2,953千円</span>  <span style="float: right;">【(7-4-2) 国際交流の推進】</span>            (第2款 総務費 第2項 企画費 3 企画費)            三重の未来を担う若者をグローバル人材として育成するため、国際的な視野を広げるための講座の開催や、姉妹・友好提携先をはじめとする海外との交流機会を提供します。</p> <p>2 国際ネットワーク強化推進事業 <span style="float: right;">26,973千円</span>  <span style="float: right;">【(7-4-2) 国際交流の推進】</span>            (第2款 総務費 第2項 企画費 3 企画費)            姉妹・友好提携先や駐日大使館、領事館等とのネットワークの維持強化を図るとともに、姉妹・友好提携先や太平洋島しょ国との交流に取り組みます。</p>	<p>国際戦略課 (224-2844)</p> <p>国際戦略課 (224-2844)</p>

政策名、施策名及び事業の内容	担当課・電話番号
<p><b>《行政運営》</b></p> <p>〈行政運営名：(1) 総合計画の推進〉</p> <p>1 計画推進諸費 <span style="float: right;">8,337 千円</span>  <span style="float: right;">【(20-1-1) 総合計画の進行管理】</span>  (第2款 総務費 第2項 企画費 3 企画費)  県民の皆さんの意識を把握し、県政の運営に活用するため、広く県民を対象としたアンケート調査を行います。</p> <p>2 広域連携推進費 <span style="float: right;">12,766 千円</span>  <span style="float: right;">【(20-1-3) 広域連携の推進】</span>  (第2款 総務費 第2項 企画費 1 企画調整費)  全国知事会や圏域の知事会等に参画し、国への提言活動を実施するとともに、地域課題や県境を越えて取り組むべき広域的課題の解決に向け、他の自治体等と連携した取組を実施します。</p> <p>3 農林業センサス費 <span style="float: right;">105,251 千円</span>  <span style="float: right;">【(20-1-4) 統計情報の活用と提供】</span>  (第2款 総務費 第3項 統計調査費 2 統計調査費)  農林行政の推進に必要な基礎資料を整備し、農林業の生産構造、就業構造及び農山村等の農林業をとりまく実態を明らかにするために、農林業経営体等を対象に調査を実施します。</p>	<p>企画課 (224-2025)</p> <p>政策提言・広域連携課 (224-2089)</p> <p>統計課 (224-2044)</p>